

(金曜日——夜の部)

メッセージ 3

**第三の要因：召会は三一の神の中にあり、
諸地方召会はキリストのからだの表現であり、
信者たちはからだの感覚の中で召会生活を実行する**

聖書： I テサロニケ 1:1. II テサロニケ 1:1.
マタイ 16:18. 18:17. I コリント 1:2. 12:12-27

I. 召会は三一の神の中にあります。「父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の召会」—— I テサロニケ1:1 :

- A. I テサロニケ第1章1節には、重大な事実の啓示があります。それは、召会が唯一の神の中にあるということと、この神がわたしたちの御父と主イエス・キリストであるということです：
1. 召会は神のもの、またキリストのものであるだけではありません。召会は神の中にあり、またキリストの中にあります。
 2. わたしたちの地方にある召会が、神のものであり、神の中にあるということと、キリストのものであり、キリストの中にあるということ、わたしたちが見るのは重要です。
- B. 召会是人から成っていますが、これらの人たち、すなわち信者たちは、三一の神の中にいます—— I テサロニケ 1:1. II テサロニケ 1:1。
- C. 召会は、父なる神から生まれて彼の命と性質を持っている、またキリストとの有機的結合の中へともたらされた一群れの人です：
1. 召会が神の中にあるために、神はわたしたちの御父とならなければならず、わたしたちは彼と命の関係を持たなければなりません—— I ヨハネ 3:1 前半：
 - a. I テサロニケ第1章1節にある「父」という言葉は、命の関係を示しています。父なる神の中で、わたしたちは再び生まれ、再生されました。そして今や、わたしたちは彼の子供たちとして、彼と命の関係を持っています——ヨハネ 1:12-13。
 - b. 召会が父なる神の中にあることは、召会が神の定められた御旨、計画、選び、あらかじめ定めることの中にあることを暗示しています——エペソ 1:4-5。
 - c. 父なる神の中にある召会とは、唯一の発起人また開始者である方の中にある召会です——ローマ 11:36. I コリント 8:6. マタイ 15:13。
 2. 主イエス・キリストの中にあるとは、キリストであるすべてとキリストが行なったすべての中で、彼と有機的に結合されることです—— I テサロニケ 1:1. I コリント 1:30 :
 - a. 主イエス・キリストの中でわたしたちは、旧創造に属するすべての事を終結させます。なぜなら、キリストの中にあることは、彼の死の中にあることであるからです。この死は、すべての消極的な事柄を終結させます——ローマ 6:4。

b. I テサロニケ第1章1節にある「キリスト」という称号は、復活のすべての豊
富を表しています。こういうわけで、キリストの中にあることは復活の中にある
ことです——ローマ 8:10-11。

D. 召会は、手順を経た三一の神、すなわち父、子、聖霊の中にあります。この方は、命
を与える霊と成り、父と子と共にあります——I コリント 15:45 後半、ヨハネ 14:17,
23。

II. 地方召会は、一地方におけるキリストのからだの表現です——I コリント1:2. 10:32
後半, 17. 12:12-13, 20, 27 :

A. キリストの唯一のからだが多く地方召会の中で表現されるのは、三一の神が一であ
るように、神聖な一においてであり、また神聖な性質、要素、本質、表現、機能、証
しにおいてです。多くの召会がありますが、それらは一つの神聖な性質、一つの神聖
な要素、一つの神聖な本質、一つの神聖な表現、一つの神聖な機能、一つの神聖な証
しを持っています。なぜなら、それらは一つからだであるからです——啓 1:11。
ヨハネ 17:11, 21, 23。

B. マタイ第16章18節で啓示されている召会は、宇宙召会、キリストの唯一のから
だです。第18章17節で啓示されている召会は、地方召会、一地方におけるキリ
ストの唯一のからだの表現です。

C. 一つの宇宙召会、すなわちキリストのからだは、多くの地方召会、すなわちキリスト
のからだの地方における表現となります——ローマ 12:4-5. 16:16。

D. キリストの唯一のからだは、多くの地方において、諸地方召会として表現されます
——エペソ 4:4. 啓 1:4, 11 :

1. キリストのからだは、諸地方召会の源です——エペソ 1:22-23. 2:21-22。

2. 宇宙的なからだは、すべての召会の父親のようなものです。すべての召会は、父親
の子供たちのようなものです——ローマ 12:4-5. 16:4。

E. それぞれの地方召会は、キリストの唯一で宇宙的なからだの一部分であり、このから
だの地方における表現です——エペソ 4:4. I コリント 1:2. 12:27 :

1. 宇宙的には、すべての地方召会一つからだです。地方的には、それぞれの地方召
会は、宇宙的なからだの地方における表現です。ですから、地方召会はからだでは
なく、からだの一部分、すなわちからだの表現にすぎません。

2. 宇宙的なキリストは、あらゆる地方召会においてご自身の一部分を持っています。
あらゆる地方召会はキリストの一部分であり、これらの部分のすべてがからだを構
成します——エペソ 1:23. 2:22。

F. 召会の地方の立場は、基本的に、諸地方召会で実行されるキリストのからだの唯一の
一です——エペソ 4:4. I テサロニケ 1:1 :

1. キリストの宇宙的なからだは諸地方召会は、いずれも唯一無二のものです。

2. 全宇宙には、唯一無二のからだがあります。それぞれの地方には、それぞれ唯一無
二の地方召会があります。

3. この唯一の一は、召会生活の中の基本的な要素です——使徒 1:14. 2:46. I コリ
ント 1:10. ピリピ 1:27. 2:1-2。

G. さまざまな地方における諸召会は、キリストの宇宙的な表現のためです——エペソ 1:23. 啓 1:4, 11. 22:16 前半:

1. 一地方召会が、すべての事を地方的にして、自分の地方だけを表現しているなら、それは一地方の分派、一地方の分裂となっています。
2. からだのためのすべての基本的な事柄、すなわち、その霊、キリスト、神、聖書、使徒たちの教え、使徒たちの交わりは、地方的ではありません。

H. わたしたちの考えにおいて、からだは第一であるべきであり、地方召会は第二であるべきです——マタイ 16:18. 18:17. エペソ 4:4, 16. 2:21-22. I コリント 12:12. 1:2:

1. 地方召会は、神がご自身のエコノミーの目標、すなわちキリストのからだに到達するために取る手続きです——ローマ 16:1, 4, 16. 12:4-5。
2. わたしたちは、自分の地方召会をキリストのからだの一部分と考えるべきです——I コリント 1:2. 10:16-17. 12:12-13, 20, 27。

III. わたしたちは召会生活を実行するとき、からだの感覚を持つ必要があります——I コリント 12:12-27:

A. わたしたちはからだの生活を持つために、からだに対する感覚で満ちていなければならず、かしらの感覚を自分自身の感覚としなければなりません——ローマ 12:15.

I コリント 12:26-27. 使徒 9:4-5:

1. 肢体であるわたしたちが、あらゆる事においてかしらの感覚を持ち、からだを顧慮するなら、わたしたちは思い、思考、言葉、行動において、からだを規範とするでしょう——エペソ 4:15-16. コロサイ 2:19。
2. わたしたちは自己を否み、自分自身をからだに結合させるべきです(マタイ 16:24. ローマ 12:4-5, 15. I コリント 1:2. 12:12-27)。もしわたしたちがこのようにするなら、わたしたちの生活はからだの生活となり、主はからだの表現を得ます——エペソ 4:15-16. 1:22-23。
3. わたしたちはキリストを享受するなら、キリストのからだの感覚を持ちます——コロサイ 2:16-17, 19。

B. わたしたちの行なう事は何であれ、からだと関係があります。ですから、わたしたちは何かを行なう時はいつも、からだについて正しく考慮しなければなりません——II コリント 8:21. エペソ 4:16:

1. わたしたちは、からだを顧慮することなしに何も行なうべきではありません——I コリント 12:12-27。
2. わたしたちは、自分たちの行なっている事についてからだがどのように感じるかを考慮する必要があります。また、からだ、主の回復がどのように反応するかを考慮する必要があります。
3. わたしたちがどのように振る舞うかは、わたしたちがどの程度からだを見ているかにかかっています。
4. もしわたしたちが自分の地方召会においてのみ一つ思いであって、他の召会を顧慮しないのであれば、このような種類の一つ思いは分派、分裂です——使徒 1:14. 15:25。

5. もしわたしたちがからだを顧慮して、からだに関心を持つなら、何の問題もないでしょう——エペソ 4:4, 16。
- C. キリストの一つの宇宙的なからだを構成するすべての召会の間には、組織はなく、キリストのからだの交わりがあります——使徒 2:42. I ヨハネ 1:3. I コリント 1:9. 10:16-17. 11:29 :
1. 地上のすべての召会是一个のからだです。この一个のからだの中には、神聖な命の循環、すなわちからだの交わりがあります——I ヨハネ 1:3。
 2. 交わりは一と関係があります。からだの中の神聖な命の循環は、からだのすべての肢体を一の中へともたらしめます——エペソ 4:3-4. ローマ 16:1-23。
 3. 諸地方召会は、全地のすべての真の地方召会と交わりを持って、キリストのからだの宇宙的な交わりを保つべきです。
 4. 召会の行政は地方的ですが（使徒 14:23）、召会の交わりは宇宙的（2:42）。多くの都市には諸召会がありますが、全宇宙には一个の交わりがあります。